

農地中間管理機事業の創設を契機に集落営農組織を法人化したプラン

つるおかし ひがしいわもと

(山形県鶴岡市東岩本地域(H25.3作成、H27.3見直し))

《概要・データ》

地域の特徴	鶴岡市の南部に位置する中山間地であるが比較的平坦な圃場が多い地域（平坦地80%一部中山間地）で、水稻を中心にそば・山菜の作付にも取り組んでいる。 地域内農家数58戸、地域内農地面積141.4ha。
中心経営体	個別経営15名、法人経営1
出し手となる農業者	45名《提供予定農地面積35ha》
農地集積	現状(H27) 40ha(集積率28%)→目標(H28) 45ha(集積率32%)

《特徴的な取組》

- ・ 当該地域では急速に高齢化が進み、担い手が減少する中で、個人の担い手への集積が進まないことから、平成19年に集落営農組織「あさひの輝き・まんてん」を組織して地域農地の保全を図ってきた。
- ・ 今般、農地中間管理機構が創設されたことを契機にプランの話し合いで、将来にわたって安定的に農地の受け皿を確保するため、当該集落営農組織を法人化し、地域集積協力金を活用しながら、法人に農地の集積・集約化を進めることについて合意が図られた（平成26年10月に法人化）。
- ・ 法人化に伴い、新規就農者等を安定的に雇用することが可能となったため、農の雇用事業等の各種制度を活用して後継者の育成にも取り組んでいる。

《プラン作成・見直しの経緯》

- ・ 平成24年1月～2月 地域内農業者に説明会の開催及び農業経営意識調査を実施。
- ・ 平成25年3月 プラン作成。
- ・ 平成26年1月 第1回見直し。
- ・ 平成26年10月 集落営農の法人化とそれに伴う農地集積関係を見直し。
- ・ 平成27年3月 第2回見直し。



〔コンバイン2台による水稻の刈り取り風景と、刈り取り後の水田〕

(鶴岡市位置図)

